

中橋の早期架け替えを求める決議について

別紙のとおり決議するものとする。

令和4年2月24日提出

提出者	足利市議会議員	藤	本	秀	樹
同	同	鳥	井	康	子
同	同	中	島	真	弓
同	同	鶴	貝	大	祐
同	同	末	吉	利	啓
同	同	須	田	瑞	穂
同	同	大	谷	弥	生
同	同	杉	田		光
同	同	金	子	裕	美
同	同	小	林	貴	浩
同	同	横	山	育	男
同	同	吉	田	晴	信
同	同	富	永	悦	子
同	同	大須賀		幸	雄
同	同	斎藤		昌	之
同	同	栗原			収
同	同	荻原		久	雄
同	同	柳		収	一郎
同	同	渡	辺		悟
同	同	尾	関	栄	子
同	同	黒	川	貫	男
同	同	中	山	富	夫
同	同	西	田	智	男
同	同	平	塚		茂

中橋の早期架け替えを求める決議

近年、自然災害が激甚化・頻発化しており、全国各地で甚大な被害が発生している状況である。本市においても、昭和22年のカスリーン台風では、小俣地先、借宿地先、岩井地先で堤防が決壊し、多くの尊い命が失われた。近年では、令和元年東日本台風により大規模な浸水被害が発生した。特に本市東部地区では、1名の尊い命が失われたほか、住宅地での浸水、工業団地での一時操業停止など、大きな被害を受けたところである。

このような災害を二度と繰り返さないよう、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進するために、早急に治水対策に取り組むべきである。

このような中、本市中央部を流れる渡良瀬川に架かる中橋については、付近の堤防が計画の高さから大きく切れ込んでいるため、重要水防箇所の中でも特に危険度が高いAランクに位置づけられており、今後、市街地中心部でも甚大な被害が発生することが懸念されている。

現在、国・県・市で進めている中橋付近の堤防かさ上げ及びそれに伴う中橋の架け替えは、市民が安全に安心して暮らせるまちを築いていくためには欠かすことのできない事業であり、また、歴史的・文化的資産である史跡足利学校や鑊阿寺を、将来にわたって守り受け継いでいくためにも重要である。近年の全国で発生している記録的な豪雨に鑑みると、本市にも大規模な浸水被害が発生しないと切り切れない状況であることから、一日も早く事業に着工し、早期の完成を目指すべきである。

さらに、中橋の架け替えと一体的に実施する南北の道路整備は、市街地中心部の渋滞緩和、安全・安心な道路網の構築、さらには、渡良瀬川左右岸の道路交通ネットワーク強化に必要不可欠な事業である。

これらの事業に併せ、関連する都市基盤の整備、土地区画整理事業に伴う定住促進、空き店舗の利活用の促進、その他商業や観光振興など様々な取組を総合的かつ体系的に推進することで、足利駅・足利市駅両駅を含めた市街地中心部に新たな活気やにぎわいを創出することができる。

よって、足利市議会は、一刻も早い中橋付近の堤防かさ上げ及びそれに伴う中橋架け替え並びに南北の道路整備の早期の着手と完成を要請するものである。
以上、決議する。

令和4年2月24日

足利市議会